



古典の引用と笑いへの転換

【講演概要】

江戸時代は、出版文化が大きく発展し、様々なテキストやイメージが、幅広い読者層に浸透しました。出版物のおかげで『源氏物語』『伊勢物語』『徒然草』といった古典文学も人々の教養となりました。

古典文学はそのままのかたちだけではなく、パロディ化されることもしばしばありました。雅の世界から俗の世界へ、その変換が意外であるほど、その落差が大きいほど、笑いを誘います。江戸時代のテキスト、そして特にイメージで、古典の引用と変容による笑いへの転換の例を挙げて、楽しく読み解きます。



2022年10月16日(日)

講演 14:30~16:30

Zoom入場は 14:15~

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会場参加は中止とし、Zoomによるオンライン参加のみと致します。

コロナ対策のため事前申し込み制
会員無料

(非会員は参加費 1000円)

(ただし非会員の学生は無料)

申し込み方法：お名前・会員番号
(非会員の方は「非会員」、学生の方は学校名)を記載し、
メールにて申込み下さい。

講師：樋口 一貴 氏

(ひぐち かずたか)

(十文字学園女子大学・教授)